

2027加盟団体教育部事務担当者会議 質疑一覧

No	所属連盟	質問	回答
1	北海道自衛隊スキー連盟	研修会の2日間で担当講師が変わりますが、初日と2日目講師は変わりますが同じ様な事をしますが、これなら1日目でも良いのではないのでしょうか？2日間で実施している本来の意味がないのではないのでしょうか、と会員から良く言われます。	本研修会は、2日間の受講をもって資格継続に必要な単位を取得する仕組みとなっており、この点については変更できません。 近年は新しい技術員の参加も増えており、講師間の技術差について受講者から意見が寄せられており、こうした技術差が指導力の差として受け止められることを避けるため、研修会では1日目と2日目講師を入れ替える運用を行いました。技術差を平準化し、受講者に公平な研修環境を提供するための重要な施策となっております。ご理解ください。
2	旭川スキー連盟	スノーボード部の説明の中で、研修会の募集を2次募集まで行い、2次募集は1次募集より1,000円高くなるとの説明がありましたが、スキーの研修会は対象となるのでしょうか。また、どのようにアナウンスすれば良いのでしょうか。	スキーの研修会は、1次募集・2次募集といった募集区分による参加費の差は設けません。 すべての参加者が同一の研修会費で受講を申し込む運用となっています。 一方、スノーボードの研修会のみ、今年度より1次募集と2次募集の二段階で募集を行うこととしました。 2次募集は申込み時期が遅くなることから、参加費を1,000円増額して設定しております。この運用は、申込み時期の違いによる事務負担や準備期間の確保を考慮したものであり、スノーボード研修会に限った措置となります。
3	旭川スキー連盟	10月に総会を実施するのですが、スノーボードの2次募集の時期を教えてください。	スノーボードの研修会の1次申込の締切日は 11月15日 とし、2次募集の〆切は、会場によって設定します。会場変更の期限と同じ設定とします。期限については、開催要項に明記します。 開催要項は、9月中旬に道連HPにて公開します。
4	旭川スキー連盟	現在、会員の先生方の代理登録を実施しています。 シクミネットになってから、有効の人や停止中の人が見えるようになりました。 資格停止、有効と言う分類は、昔からありましたか？	指導員資格が「有効」「停止」という区分は、従来より規程上に存在していました。 しかし、過去には紙ベースで名簿管理を行っていたため、資格の停止状況を周囲が把握することは困難であったため事務局や関係者が即時に確認する手段はなく、停止中かどうかを外部から判断することはできなかったと推察します。 この状況は、シクミネットが導入されたことで大きく改善され、これにより、資格管理の透明性が向上し、事務処理の正確性および効率性が大幅に改善されたと考えます。
5	旭川スキー連盟	事務局で会費、研修会費を徴収していた際は、研修会に参加しない人（研修会費を払わない人）には、「それじゃあ登録はできない」と、返金したこともありましたが、現在は、シクミネットで個人は会費を支払、研修会を申込みようになり、資格停止をコントロールできなくなりました。資格停止の人は、指導してはダメでしょうか？	本来、スキー学校が指導員に講師を依頼する際には、当該指導員が資格停止中でないかを確認した上で指導を依頼することが必須です。資格状況の確認は学校側の責務と考えます。 年度当初、資格停止であったとしても、年度最初（12月の研修会）の研修会に参加すれば、資格停止が解除となり実質的に活動が可能となります。是非ともそのように運用して欲しいです。
6	紋別地方スキー連盟	道連のホームページの「地区連コンテンツ」があります。 要望ですが、今回の教育担当者会議の配布資料は、ホームページに掲載されますが、できれば地区連コンテンツなどに入れて配布していただきたい。	教育本部 企画部では、加盟団体様へ情報を確実に届けるため、複数の配布方法を併用しています。 現在は、企画部が独自に構築したネットワーク・クラウド環境に資料を保管し、ダウンロードにて入手頂く方式を採用しています。 この方法は、担当者が必要なタイミングで迅速に資料を公開できる点に大きな利点があります。 一方で、道連ホームページからアクセスできる形が望ましいとの意見もあることから道連ホームページからも同様に資料へアクセスできる仕組みの構築を検討していくようにします。

No	所属連盟	質問	回答
7	当別スキー連盟	インターナショナルスキーインストラクターと言う言葉が突然現れました、受験資格、受験内容についてもほぼ認定指導員と同一のように思います。微妙な違いはありましたが、説明から認定指導員制度と違いが良くわかりませんでした。 道連としては、併設で、インターナショナルインストラクターと道連の認定指導員A、Bと両方とも運用して行くということでしょうか。	インターナショナルスキーインストラクターは、SAJ（全日本スキー連盟）が認定する全国統一資格であり、道連認定指導員Aは、北海道スキー連盟が独自に認定する資格となります。当初は、認定指導員Bの普及が進めば、認定指導員Aの受験者は減少する可能性があるかと予測していたのですが、昨年度も約20名の受験者があり、一定のニーズが継続していると判断しています。 そのため、受験者が存在する限り、認定指導員Aは継続する方針ですが、今後インターナショナルスキーインストラクターが普及し、Aの受験者が大幅に減少した場合には、認定指導員Aの検定会を終了する可能性があります。
8	当別スキー連盟	8月より、SAJ、SAHともにスキー・スノーボード連盟となりましたがネームプレートを変更しないといけないのかなと思います。このガイドライン、作成上のガイドライン、地区連に一任されているのか、最低限こういことを入れるというもののガイドラインがあるのでしたらお教えてください。	全日本スキー連盟は、名称変更に伴いロゴ体を刷新し、日本国旗をモチーフとした新デザインを2パターン導入しましたが、北海道スキー連盟では、従来使用してきた「雪の結晶をモチーフとしたロゴ」を継続使用することにしました。ただし、ロゴの下に付される日本語表記・英語表記の書体については新仕様へ変更しており、現在ホームページへの反映作業を進めている段階です。公式のロゴデータ一式については、道連ホームページ等からロゴ画像を取得して使用出来るように準備します。
9	当別スキー連盟	旧青本に研修会ではネームプレートを着用することの記載がありました。 青本がなくなり、この点について特に変更は無いと考えていますがSAJ絡みのことではありますがどのように対応したらいいのでしょうか。	ネームプレートの着用については、加盟団体ごとに運用方法が異なることを承知しているが、技術員を含む指導者は、研修会や行事においてネームプレートを着用し、身分を明確にしたうえで活動することが望ましいと考えます。 対面での研修機会が減少している状況だからこそ、互いの名前を認識しながら活動することが重要であると考えます。